

テーマ「地産地消・食育・農福連携で新潟を元気に」

/株式会社 総合フードサービス



奨励賞

田園資源×福祉



地元農業者からの直接仕入れや自社グループ会社での生産・販売により地産地消を推進するとともに、給食を提供している幼稚園の園児の収穫体験、中学校での地場産表示など食育の取組み、自ら代表を務めるNPOを活用した生産現場での引きこもり・ニートの就労支援を実施している。

動機・思い

学校給食での地産地消に取り組んでいく過程で、地元のおいしい野菜を安定供給したいという思いから、耕作放棄地を開墾し農産物の生産を始めた。また、引きこもり・ニートの支援者養成講座に参加したことから若者自立支援のNPO設立に関わって彼らの社会復帰を手伝っており、夢を実現させたいと目標や志を高く持った若者の力になりたいという思いから、自社の生産現場を中心に通年作業で仕事ができるよう就労支援に取り組んでいる。

理念・コンセプト

給食の提供だけでなく地産地消や食育、農福連携による社会貢献を通じて新潟を元気にしたい。

これまでの取組み

平成18年に学校給食での地産地消の取組みを始めた。仕入れ会社の設立、耕作放棄地を活用しての農産物生産を始め、幼稚園・中学校・社員食堂や福祉施設等へ地元野菜を用いた給食の提供を行っている。引きこもり・ニート支援のNPO設立にかかわり、生産現場での引きこもり・ニートの就労支援、障がい者の受け入れに積極的かつ継続的に取り組んでいる。

評価ポイント

認定農業者資格を有するグループ会社を設立し地産地消・規格外品の有効活用を進める中で、自ら代表を務めるNPOを活用し、生産現場での引きこもり・ニートの就労支援、障がい者の受け入れに積極的かつ継続的に取り組んでいる。